

こんにちは



第 84 号
9月定例会
平成30年10月20日

豊丘村議会 **です**



雨の合間の
はざかけ作業

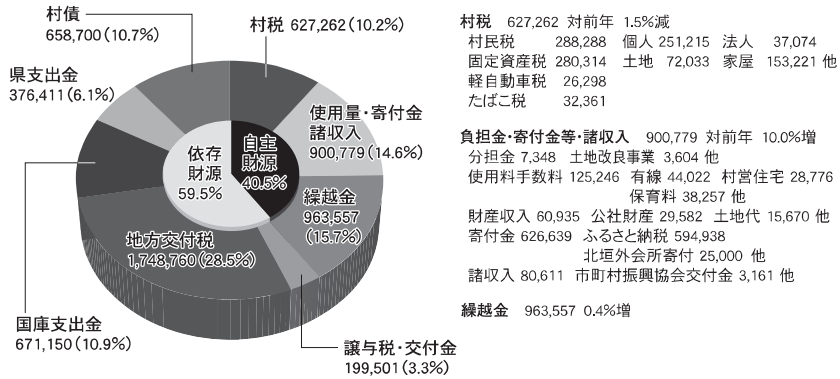
説明はP.8

9月定例会

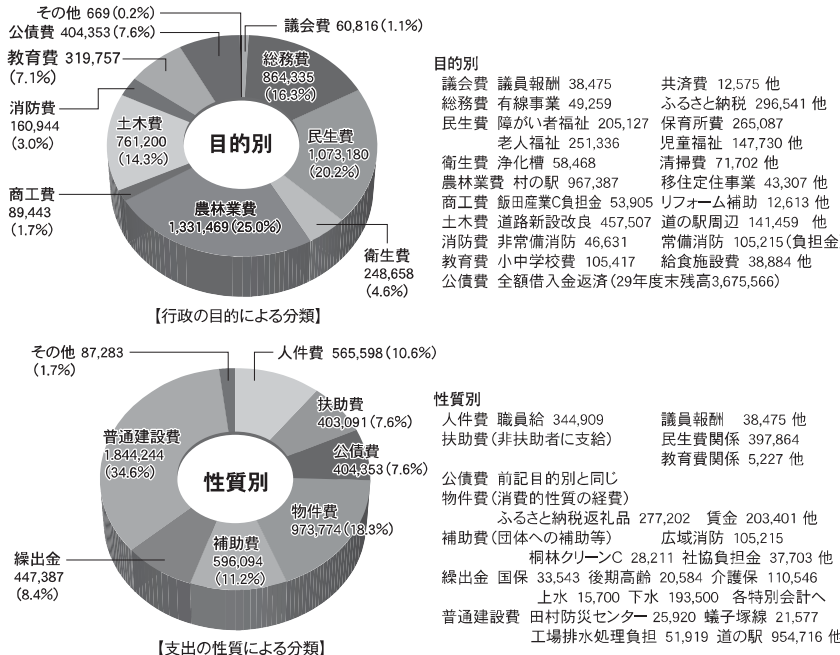
9月定例会の様子	2～3ページ
29年度決算認定の様子	4～5ページ
30年度補正予算質疑の様子	6ページ
30年度補正・専決認定の様子	7ページ
10人が一般質問	8～18ページ
北部ブロック議会で県への要望 ...	19ページ
みんなのページ	20ページ

平成29年度一般会計決算 歳入歳出状況

一般会計歳入内訳 61億4,612万円 (単位:千円) 対前年 21.2%増



一般会計歳出内訳 53億2,182万円 (単位:千円) 対前年 29.5%増



平成30年 第3回定例会 29決算 歳出25年度に次ぐ53億超 歳入61億余 過去最高額となる

道の駅、周辺道路整備に伴う歳入歳出の増

H29年度の一般会計及び各特別会計の決算数値は、下記の表のとおり。一般会計歳入では、対前年比12億1千万円余の増となり、H25決算に次ぐ大規模となった。これは道の駅建設や竜東一貫道路等の道の駅周辺道路整備によるもの。

また、一般会計歳入では、対前年比10億7千万円余の増となり、過去最大となった。こちらも大型事業の国庫補助や補助金の増等によるもの。これら多額の地方債や稲葉クリーンセンター

平成29年度決算の概要

H30年第3回定例会が、9月4日から9月21日までの、18日間の会期で開かれた。開会日には、専決補正の承認、条例案1件、補正予算案4件、H29年度決算認定6件、報告1件が上程され、補正及び決算認定は予算決算委員会に付託された。また、最終日には、一般会計の追加補正と、公用車事故の損害賠償の額の決定について、が上程され即決で可決承認された。

今定例会では、陳情 請願等が1件もなく、また、条例改正も1件で、税申告の日付削除のみで、即決された。総務産建委員会及び社会文教委員会の開催はなかった。予算決算委員会は、9月7、10、11日の3日間の日程で開催され付託された議案の審議がされた。一般会計は10名が行った。

再開日の21日には、予算決算委員会の審査結果の報告があり、補正予算、決算認定はそれぞれ承認された。なお、今回は、審査の無かった各委員会の報告はない。

第3回定例会

平成29年度各会計の決算状況

会計種別	歳入(千円)		歳出(千円)	
	29年度	28年度	29年度	28年度
一般会計	6,146,120	5,072,518	5,321,824	4,108,961
特別会計	国民保険会計	737,278	671,901	625,962
	後期高齢者医療	73,079	68,637	73,079
	介護保険	819,207	812,319	755,974
	下水道	529,364	381,689	481,322
	水道事業会計	183,666	300,785	194,899
	合計	8,488,714	7,307,849	7,453,060

建設負担金等算入された為、H21年以降久々に「将来負担比率」がプラスに転じた。

歳入の自主財源比率が7ポイント余下がったが、予算総額が増えたため下がったもので、自主財源そのものは、対前年比7千6百万円余増となっている。

財政指標について、経常収支比率は75・9%と対前年1・8%増、実質公債比率は7・0%で対前年2・1%の増、将来負担比率は3%と増加したものの、財政状況は健全を保っている。

一般会計では、歳入歳出差し引き額が8億2、430万円となり、翌年度への明許繰越額5、739万円を差し引いた実質収支額は7億6、691万円となり、次年度へ繰越される。

平成29年度決算 どんな仕事をしたか

検証

だいちのあり方、検討を

滝川議員 昨年の決算審査で、だいちへの交付金2千万円は人件費だと説明があった。つまり税金を使って桃狩り等を行っている。生産者に、公平に呼びかける様お願いしたが、産業建設課 だいちがあくまで行政業務を委託している。当初から意欲ある農家を応援している。それが公平だ。桃狩りは3軒増えて4軒で行っている。

滝川議員 昨年監査委員から、だいちが自立をめざす様話が合った。2千万円の行政効果をどう見ているか。

産業建設課 自力でという話もあったが、基本的に今、自力でやってみようとしている。と考える。村は2千万円で委託して、その範囲内で自力営業している。

滝川議員 だいちの営農支援センター業務に

500万円の交付金が支払われている。農地利用集積の実績表は、本当にだいち職員が行ったものか。

産業建設課 J A 営農支援センター職員をはじめ農業委員の皆さん、これら一切合切の予算が500万円という事だ。

滝川議員 だいちの姿が本当にこれだよいか、新年度予算に向けて本気で検討する時期にある。

井原議員 だいちの業務を見直す時期が来ていると思う。業務評価の点数が甘いのでは。

唐澤(啓)議員 業務評価員の役職は。評価点10点満点中、5点以上で満額補助は甘いのではないと思う。

予算決算委員長 今後の運営については、しっかり検討して頂き透明性をもった運営を要望する。

生産森林組合なぜ補助

唐澤(健)議員 生産森林組合育成補助金は、今年から森林組合では資料を作らないとなった。なぜ育成補助金を出したのか。

産業建設課 予算で決めた通り支払った。

唐澤(健)議員 内容がないのに予算があるから支払ったでは説明になっていない。

産業建設課 各生産森林組合育成の補助金。



開設18年目を迎える交流センターだいち

ゲストハウス利用あるか

川野議員 ゲストハウスの利用状況の説明とPRの必要性を感じる。

産業建設課 44名の一般の方が利用している。ホームページやパンフレットも作成した。

多面的交付金は続くか

松下議員 多面的事業は5年が経過した。来年以後この事業はどうなるのか。

産業建設課 5年は続くだろうと見ている。

松くい虫防除成果は

酒井議員 松くい虫空中散布を再開して2年、その成果の検証は。産業建設課 詳しいデータはまだだが、年2回調査を行っている。

どの様な効果があったか ～決算質疑から～

3日間にわたる決算審査では、理事者として村長他、係長以上の出席により、説明を受け質疑を行った。一般会計質疑応答の中から、一部を記載する。

返礼品果実は豊丘産のみか

唐澤(啓)議員 ふるさと納税返礼の果実の豊丘産割合は。

総務課 みなみ信州農協に委託しており具体的な数字は分からないが、100%豊丘産で賄うのは難しい。

平澤議員 寄付額に対する返礼品の調達額は、総務課 32%が調達額で、送料を含めた事務費は14%。

電算共同化の効果は

議長 電算共同化によつて効果があったか。

総務課 当村を含め県内14町村が税電算からBSNアイネットに平成28年から移行した。経費は30%ほど抑えられたが、使勝手等の面でやや問題がある。

村長 県内を独占していた税電算が共同化によつて危機を感じて大幅に値を下げた。そのことで、共同化に参加するのをやめたところもある。競争させよう。

と前向きに話を進めた自治体の動きで、傍観していた自治体を得をしたようになってる。

総務課 5年で見直すのが、今のところBSNが見積も安い。

唐澤(啓)議員 納税通知の誤発送は、システムを乗り換えたからか。

税務会計課 その通り。

竹村議員 コワーキングスペースの利用状況は。

総務課 週に数件。非常に少ないという事。

平澤議員 LEDの進捗率は。

福祉タクシの今後は

川野議員 福祉タクシーは豊丘ならではの有難い施策。将来をどう考えるか。

子育て支援は充実か

吉川議員 子育て支援センターは、村外者の利用料が必要か。もつと広い所で充実させるべきではないか。旧図書館やバブル旧店舗を

総務課 防犯灯61%。街路灯は変わらない。

う考えるか。

村長 今のところサービスを落してまでも、利用すれば良い。子ども課 持ちつ持たれつで無料。

唐澤(健)議員 病児病後児保育登録者は28名なのに利用者が1名と



あと数年で満杯になるらしい処分場

予算を削減とは考えない。デマンド率を上げるような乗り方を広げたい。

健康福祉課 利用者同志で声を掛けあつて乗合出来るようにしたい。

いうことをどう感じるか。

子ども課 子どもが大きくなつたり、病気になるなかつたのではないか。今年度は、登録も利用も増えている。

専決処分

河野区民会館エアコン設置で熱い議論

予算の流用の認識もポイント

承認第8号平成30年度豊丘村一般会計補正予算3号(専決処分)の内、河野区民会館へのクーラー設置に関連して質疑・討論される。

提案 河野コミュニティセンター空調設備設置工事請負費125万円の追加。指定避難所に指定されている区民会館へのエアコン設置について、河野区から、この夏の例年になり酷暑で、9月議会の補正予算を待たず取りつきたいとの申し出があり、知事選があり臨時議会を招集する日程的余裕がなく専決処分とした。

質疑(4人が質問)

予算の流用で議論

唐澤(啓)議員 専決処分は妥当な判断だ。このクーラー設置について議会の中で反対する意見があったと河野区の皆さんの認識がある。事前に説明を受けた総務産建委員会および全員協議会で、反対したとい



河野区民会館

えていないといった。その後の専決の経過について聞く。

村長 予算の流用をしてまで前倒ししなければいけないのか、補正予算でいいこの話だった。村はどうしてもなら専決をという話もあったが、専決しないといった。法的には議会の議決は款項まで。目節は行政側の判断でできる。議会は勘違いをしていて、目節の枝葉末節までも、全体の議論ではなく、いちいちチェックするのは問題があるのではないのか。議会軽視の発言は行政軽視だとお返しする。

唐澤(啓)議員 村長の認識は間違っている。流用の解釈について、目節は、新しい予算でもできる

というのは間違っている。何も議決しないところに村の予算を使っているのか。流用については正しい判断を。井原議員 避難場所ではない会所でも適用されるのか。課長 会所は適用されないが、検討はしていきたい。

討論(反対1人賛成3人)

反対 専決は承認できない

賛成 全員協議会で認めたのでやむを得ない

松村議員 予算について反対するものではない。臨時議会、9月補正でできる。議会が専決を誘導したのは残念だ。専決をしたのはなんでも専決できることになる。従って、承認するわけにはいかない。

唐澤(啓)議員 認定に賛成する。事前に協議し十分に村側から説明を

議員の意志表示一覧表

<平成30年9月 第3回 定例会>

○…賛成 ▼…反対

件名	審議結果	川野孝子	唐澤啓六	松村正三	片桐義憲	井原康明	松下 亨	吉川明博	酒井浩文	唐澤 健	片桐忠彦	平澤恒雄	滝川利秋	竹村直子	原案可決
専決処分	平成30年度 豊丘村一般会計補正予算第3号	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

30年度一般会計補正予算

「3校」および「ゆめあるて」への グランドピアノ購入に1,000万円

平成30年度一般会計補正予算は、定例会開会日の9月4日に上程され、他に、国民健康保険特別会計補正予算、後期高齢者医療特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算の計4件の補正予算案と、専決処分(一般会計)が1件、最終日の追加補正(一般会計)の1件が、賛成多数で可決された。

繰越金は、7億6691万308円

一般会計補正予算で歳入補正の主なものは、地方交付税の確定により2746万の増額補正となり、合わせて29年決算確定により、2億3437万5000円の繰越金の増となり、これにより繰越金の総額は、7億6691万308円となった。

主な歳出

◎保育所費に227万3400円(中央保育園に179万2800円、北保育園に48万6000円、いずれも両保育園の屋内消火栓ポンプの改修および、ポンプユニット修理を行うもの。)

◎保育所費に227万3400円(中央保育園に179万2800円、北保育園に48万6000円、いずれも両保育園の屋内消火栓ポンプの改修および、ポンプユニット修理を行うもの。)

◎商工業振興対策事業費に100万円(店舗などのリフォーム事業補助の増額を図るもの(2店舗×50万円))

◎教育振興一般経費に1000万円(中学、南

◎農業振興費に1000万円(リンゴ黒星病の発生により、緊急対応のため、特別防除補助金10アール当たり10000円として、1万アール分を補助するもの。)

◎定住移住事業費に150万円(ゲストハウスの駐車場設置と屋根の分離工事を行うもの。)

◎補助林道整備事業に2000万円(間沢川線の畑井取水下流の修繕工事を行うもの。)

◎後期高齢者医療特別会計補正

◎一般管理費に21万円(後期高齢者医療のシステム改修に伴い、自動連携サーバーの改修を図るもの。)

◎認知症総合支援事業に12万円(認知症ケア新設1カ所への負担として。)

国民健康保険特別会計補正

◎一般管理費に32万4000円(制度改正により国保ラインのシステム改修を図る。)

北小学校、ゆめあるて、に、それぞれグランドピアノを1台購入する。

追加補正

◎加工所運営費に115万円(加工所にある冷凍庫の機能低下により、早急な修理が必要のため。)

主な歳入

◎地方交付税の額の確定により、2746万円の増額。

◎公共土木施設災害復旧事業国

◎地域包括支援センター運営事業に16万円(認知症OSSネットワークの模擬訓練を受けるための旅費2人分。)

専決処分

◎防災費に125万円(河野コミュニティセンターへエアコンの設置を行うもの。)

◎学校管理費に20万円(中学の吹奏楽部が静岡大会に参加する際のバス代の補助。)

追加補正

◎加工所運営費に115万円(加工所にある冷凍庫の機能低下により、早急な修理が必要のため。)

主な歳入

◎地方交付税の額の確定により、2746万円の増額。

◎公共土木施設災害復旧事業国



更新に伴い下取りに出されるピアノ



活水器の効能が今後のカギ

答 ひとつの井戸に900万の費用が必要

川野 孝子 議員

質問 最新の水質検査 硝酸性ちっ素、蒸発残留物の報告を求める。環境課長 河野第4水源、硝酸性ちっ素3・1。蒸発残留物180。田村第2水源、硝酸性ちっ素3・1。蒸発残留物220。伴野水源、硝酸性ちっ素7・1。蒸発残留物170。が主なもの。

質問 蒸発残留物（白い付着物）の成分はミネラル成分であり体に害を及ぼすものではない。ミネラル成分は適度に含まれていると味が良くなり多めだと苦みや渋みを感じる場合もある。おいしい水の要件の中に蒸発残留物の値の上限は200。田村第2水源はこれを越える高めで推移していると思う。器具の傷みにも影響すると思う。こうした状況の改善に活水器の設置をするとなっているが。

環境課長 現在準備を

進めている。河野の憩いの家へ1基。南北保育園。その他3基設置を予定している。10月から3月までの半年間モニタリングをお願いし経過を見守る。

活水器とはセラミックスの粒が入ったものを埋めて下から水が入って上に抜けるというもので、蛇口でその水を使ってもらうというもの。

質問 活水器の効能は環境課長 蒸発残留物を除去するものではない。白い付着物がうすれていき元の状況に戻れることを期待する。

質問 田村第2水源へ

新万年橋の進捗よく状況は順調に進んでいる

質問 新万年橋事業の最新状況は。環境課長 県は予定通り31年度中に詳細設計が出来上がり、河川占用の許可もいたされたと想定している。

質問 高森町側の国道のかさ上げが必要と聞か。環境課長 予備設計の中でカインズの前の交差点の所で国道を1・2mかさ上げしな

環境課長 延長は109km。事業費は27億円位かかる見込み。年度内に大まかな計画等立てていきたい。

財源としては補助金、起債等がある。村からの持ち出しも必要となってくる。水道の使用料の改訂も検討する時期もくると思われる。

村長 ぎりぎりのところで少しずつ補修してくてはならないという。質問 橋の正式名称はいつ、どこで誰が決めるのか。環境課長 10月11日に建設期成同盟会の総会が開かれる。その席上議論をいただきたいと考える。

質問 河野区では地域

環境課長 延長は109km。事業費は27億円位かかる見込み。年度内に大まかな計画等立てていきたい。

財源としては補助金、起債等がある。村からの持ち出しも必要となってくる。水道の使用料の改訂も検討する時期もくると思われる。

村長 ぎりぎりのところで少しずつ補修してくてはならないという。質問 橋の正式名称はいつ、どこで誰が決めるのか。環境課長 10月11日に建設期成同盟会の総会が開かれる。その席上議論をいただきたいと考える。

質問 河野区では地域



設置が予定されている活水器

一般質問

10人の議員が村政を問う

【1日目】 9月18日

1. 川野 孝子 (9ページ) 1) 豊丘村の飲料水の水質の現状と今後の水道事業について 2) 新万年橋建設の最新状況について
2. 吉川 明博 (10ページ) 1) 豊丘村6次産業化プロジェクト「道の駅南信州とよおかマルシェ」について 2) 消防団について
3. 唐澤 健 (11ページ) 1) 新規農業就農者の補助について 2) 住民自治のむらづくりについて 3) リニア残土について
4. 滝川 利秋 (12ページ) 1) 土地利用計画の現状と進め方について
5. 酒井 浩文 (13ページ) 1) 土地の保全と村の対応について
6. 唐澤 啓六 (14ページ) 1) 小学校へのエアコン設置について 2) 防災訓練について 3) 道の駅農産物直売所について 4) 正規保育士採用と嘱託保育士の待遇改善について

【2日目】 9月19日

7. 片桐 忠彦 (15ページ) 1) 災害復旧の新たな補助施策について 2) 防災への取り組みについて
8. 松下 亨 (16ページ) 1) 段丘活用と整備について 2) 特定非営利活動法人だいちの在り方について
9. 井原 康明 (17ページ) 1) 村の文化財および防災備品に補助金の制度設置について 2) 災害対応処置について 3) てっぺん公園への案内看板設置について
10. 平澤 恒雄 (18ページ) 1) 住民アンケートで聞く現場の声について

【一般質問の申し合わせ事項】

- ・ 通告期限は議会運営委員会において会期日程を考慮しつつ、その都度協議、決定する。
- ・ 1議員の発言時間は30分を限度とし、質問回数は制限しない。
- ・ 発言残り時間5分前に呼び鈴を1回、残り3分前に呼び鈴を2回鳴らす。
- ・ 発言内容は「回答を求める発言」であるか、「提言」であるか明確にする。

表紙の写真
雨続きの今年の稲刈り作業、コンバインが主流の中、数少なくなつた「はざかけ」作業（河野）

裏表紙の写真
合が旬のザクロ。昔は焼酎漬けてこの薬に。更年間に効果がありそうです。（小園）



定年農業就農者に支援を

答 相談させていただく

唐澤 健 議員

質問 農林水産統計によると、平成29年新規自営農業就農者のうち、定年後農業就農者は、約59%だ。普通の定年農業就農者にも機械、施設整備の補助金等をするべきと考える。村長 当村では、国や県の政策では補うことのできない部分を村でしっかりと補完していると認識している。産業建設課長 定年となり、新たに農業にチャレンジした方々を、今年度からJAと普及センターが合同で帰農塾という農業技術の研修を1年間通して行っている。研修会の参加負担金に交通費、燃料代といったものを加算して、支援している。質問 定年後は、今更機械を購入してまで、農地を守るべきか悩む方も多い。その点をぜひ考慮してもらいたい。産業建設課長 機械など、何なりと相談させ

ていただく。質問 農林水産統計によると、平成29年新規自営農業就農者のうち、定年後農業就農者は、約59%だ。普通の定年農業就農者にも機械、施設整備の補助金等をするべきと考える。村長 当村では、国や県の政策では補うことのできない部分を村でしっかりと補完していると認識している。産業建設課長 定年となり、新たに農業にチャレンジした方々を、今年度からJAと普及センターが合同で帰農塾という農業技術の研修を1年間通して行っている。研修会の参加負担金に交通費、燃料代といったものを加算して、支援している。質問 定年後は、今更機械を購入してまで、農地を守るべきか悩む方も多い。その点をぜひ考慮してもらいたい。産業建設課長 機械など、何なりと相談させ

ていただく。質問 農林水産統計によると、平成29年新規自営農業就農者のうち、定年後農業就農者は、約59%だ。普通の定年農業就農者にも機械、施設整備の補助金等をするべきと考える。村長 当村では、国や県の政策では補うことのできない部分を村でしっかりと補完していると認識している。産業建設課長 定年となり、新たに農業にチャレンジした方々を、今年度からJAと普及センターが合同で帰農塾という農業技術の研修を1年間通して行っている。研修会の参加負担金に交通費、燃料代といったものを加算して、支援している。質問 定年後は、今更機械を購入してまで、農地を守るべきか悩む方も多い。その点をぜひ考慮してもらいたい。産業建設課長 機械など、何なりと相談させ

ていただく。質問 農林水産統計によると、平成29年新規自営農業就農者のうち、定年後農業就農者は、約59%だ。普通の定年農業就農者にも機械、施設整備の補助金等をするべきと考える。村長 当村では、国や県の政策では補うことのできない部分を村でしっかりと補完していると認識している。産業建設課長 定年となり、新たに農業にチャレンジした方々を、今年度からJAと普及センターが合同で帰農塾という農業技術の研修を1年間通して行っている。研修会の参加負担金に交通費、燃料代といったものを加算して、支援している。質問 定年後は、今更機械を購入してまで、農地を守るべきか悩む方も多い。その点をぜひ考慮してもらいたい。産業建設課長 機械など、何なりと相談させ

ていただく。質問 農林水産統計によると、平成29年新規自営農業就農者のうち、定年後農業就農者は、約59%だ。普通の定年農業就農者にも機械、施設整備の補助金等をするべきと考える。村長 当村では、国や県の政策では補うことのできない部分を村でしっかりと補完していると認識している。産業建設課長 定年となり、新たに農業にチャレンジした方々を、今年度からJAと普及センターが合同で帰農塾という農業技術の研修を1年間通して行っている。研修会の参加負担金に交通費、燃料代といったものを加算して、支援している。質問 定年後は、今更機械を購入してまで、農地を守るべきか悩む方も多い。その点をぜひ考慮してもらいたい。産業建設課長 機械など、何なりと相談させ

西宮の抑止抗と集水ポーリング



道の駅開店後の状況は

答 1期目を黒字で決算

吉川 明博 議員

質問 道の駅南信州とよおかマルシェの開店後の状況と、各店舗のレジスター等の会計の人数等、調査、集計の説明を。産業建設課長 開店後8月末までの概ね4カ月分の集計。直売所のレジ、通過者53,600人。「レストランキッチン」をなら「合計11,300人。パンやソフトクリーム等の「ペイカリーカフェ」なら「合計2,780人。質問 順調な推移だ。豊丘村が出資した直売所・道の駅は、議会は村の出資状態（最低でも51%）から見守っていく立場にあるという認識を改めて申しておく。インフオメーションコーナーへ村職員の配置をすること。配置の目的、観光に関する村の取り組みは如何に。産業建設課長 南信地域の重要な道の駅として人員の配置が必要。

質問 観光協会、観光案内所に具体的な意見を出せる検討委員会の設置、公募を提案する。村長 吉川議員の道の駅に対するスタンスの説明は、非常に議員としてとても素晴らしい角度で提案していただいている。正式な場所での具体的な前向きな検討を望む。質問 株式の2次募集があったが、応募状況は。産業建設課長 8月末

に2次募集を実施致し、案内所に具体的な意見を出せる検討委員会の設置、公募を提案する。村長 吉川議員の道の駅に対するスタンスの説明は、非常に議員としてとても素晴らしい角度で提案していただいている。正式な場所での具体的な前向きな検討を望む。質問 株式の2次募集があったが、応募状況は。産業建設課長 8月末

に2次募集を実施致し、案内所に具体的な意見を出せる検討委員会の設置、公募を提案する。村長 吉川議員の道の駅に対するスタンスの説明は、非常に議員としてとても素晴らしい角度で提案していただいている。正式な場所での具体的な前向きな検討を望む。質問 株式の2次募集があったが、応募状況は。産業建設課長 8月末

に2次募集を実施致し、案内所に具体的な意見を出せる検討委員会の設置、公募を提案する。村長 吉川議員の道の駅に対するスタンスの説明は、非常に議員としてとても素晴らしい角度で提案していただいている。正式な場所での具体的な前向きな検討を望む。質問 株式の2次募集があったが、応募状況は。産業建設課長 8月末



ポンプ操法ラッパ班



土地の保全と村の対応は

答 十分な配慮と監視体制が必要

酒井 浩文 議員

質問 第5次豊丘村総合振興計画、後期基本計画の土地利用順序文において「土地は、生活や産業活動などの共通基盤であるとともに、多面的、公益的な機能を有する村民の限りの財産であり、村全体で均衡のとれた発展を図る必要がある」とし、土地利用計画に基づき、自然環境との調和と秩序ある土地利用を推進し、長期展望に立った快適な生活環境の確保と、産業の振興をめざした総合的な土地利用に努め、土地のもつ多面的、公益的機能が発揮できるよう利用することを村民の共通認識とすると掲げている。リニア新幹線や三遠南信自動車道の開通を数年後に控え、交通網の開発による利便性の向上から、当地はこれから様々な開発が予想される。保全と開発の観点から将来に向けた村

土地利用のビジョンをどう描いているのか。村長 農業の一層の振興や遊休荒廃地対策の強化を図り、守るべき農地を維持して、農地と自然が織りなす豊丘村の農村の原風景、美しい地域の景観を守りつつ、少子高齢化、人口減少抑止、雇用創出、定住促進、農商業の均衡のとれた産業振興等、様々な課題克服や住民福祉の施策に取り組む中で、無秩序な開発によつて農地が虫食いにならないよう、バランスに配慮した住宅地や商工業地の形成を図ることが必要である。ずっと住み続けたい、戻ってきたい、来訪者が目と心で感動する着地点となる、ちよつと便利な田舎の村。安全で安心、美しくゆとりある、自然と共生できる村土を目指したい。

質問 今後、開発を見越した様々な企業や個人が事業用地等として、将来性を見いだせない村内の土地を買いあさる可能性がある。私有財産であることを尊重しつつも、公共のために利用すべきであることを村民の共通認識とする基本構想の上で、こうした開発にに対し村として監視する機能はあるのか。

産業建設課長 村が土地利用計画の策定や土地の線引きをしても、法的に規制できるわけではない。現在の監視機能は、農地に関しては農振法や農地法によりある程度の規制はできるが、宅地や雑種地等は1万平方メートル未満の規制はできない。山林は届け出程度で売買が可能であ

る。村土は村民共有の財産という認識に基づき、土地利用の監視と対応は真摯に取り組む必要を感じている。質問 景観の保全と開発のバランスを保ち、開発のための配慮と監視体制の必要性は十分承知している。これからがスタートである。



「きれいなところに人は集まる」豊丘村はどうですか？



住民が参加する土地利用計画を

答 皆に問いかけ、条例化も

滝川 利秋 議員



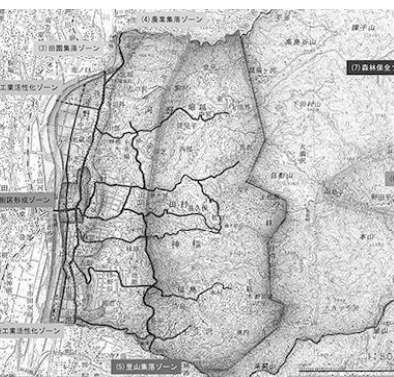
どんな地域づくりをめざすのか 土地利用の原点

質問 土地利用の原点として「国土利用計画、豊丘村計画は議会でも議決されている。しかし地権者はおるか。地元住民は何か知らないまま作られたものと思うが、特に大きなゾーンの中、それ以外

「線引き」具体的には「全関係者で」を最優先 質問 土地利用計画の記述の中で「保全すべき農地と開発すべき農地の線引きを行う」とあるが、具体的にはどう進めるのか。産業建設課長 線引きは、地域住民、土地所

有者、耕作者、関係する皆さんが集まる中で議論頂く事が何より最優先と考えるべき。質問 2年前程、村では太陽光パネル設置の村独自の条例を作った。近隣町村のモデルにな

土地利用計画の現状は 国土利用豊丘計画に基づき 質問 村の土地利用計画取り組みの現状は、総務課長「国土利用計画、豊丘村計画」という名称で土地利用計画を策定、1125年から34年迄の10年間として適切な土地利用の施策に努めている。質問 村後期基本計画の中では、土地利用計画について4つの重要ポイントが示されている。その一つに農地の遊休荒廃化を憂い、文字通り農地を農地として土地利用していく事と位置づけている。村



国土利用計画豊丘計画（土地利用構想図）



神社などへの補助制度はあるか

答 法的には無理だが、調査してみる

井原 康明 議員



歴史を感じる熊野社（林里）

質問 当村には、各地区にある神社や奉納する祭り、また、獅子舞、お囃子など多くの地域で伝統の継承が行われているが、それらへの助成金制度について聞か。地域文化財を含め継承のため、備品購入や修理の助成金制度はあるか。

ハード面の文化財についても、村の文化財保護条例で規定され、補助規定があるが、文化財の指定にあつては憲法などの解釈も絡みもあり、非常に難しい。質問 神社などの修繕に対しての、補助金制度は無いが、また、登録文化財として補助制度は使えないか。

総務課長 一部宗教などに絡みもあり、法的には無理があるが、登録文化財の扱いには、調査してみる。

質問 耐久性の期限切れの物を使用して、万が一の場合、保険の対象にならない場合があるが、どうか。総務課長 万が一の様な事は想定でき、更新



この看板のみで無事に着出来るかな？

答 公園までの看板設置を最少予算で考える。質問 福島のつべん公園に訪れる方は、日々多くなっているが、道しるべの看板への苦言が多く聞かれる。村は観光振興事業にも取り組み、ホームページでもこの公園は積極的にPRしているが、道しるべとなる看板が無

いのはなぜ。産業建設課長 まったくなしではなく、3カ所に設置してある。質問 最近の公園を訪れる方は多く、中には道を間違え、佐原地区や長沢地区へいつてしまふ方もおり、訪れる方に不親切だが、各所に看板設置は考えないか。産業建設課長 佐原線の交差点に新設をした。他に主となるルートを決め、最小限の予算で必要箇所に設置を行う。



段丘上へ人材育成機関の誘致は

答 ダーチャ計画の一環として進める

松下 亨 議員

質問 当村の河岸段丘は日本有数といわれている。そこに暮らす者は見慣れた風景であるが、初めての人間にとっては素晴らしい眺望で感動ものである。この財産を有効に活用するために人材育成機関等の誘致をしないか。村長 段丘上については非常に可能性があると考えている。現在、県営中山間地総合事業やロシア視察から「ダーチャ計画」も進めている。人材育成機関等もこの一環と捉えている。

質問 具体的な招致活動について提案する。有識者からなる企業誘致委員会等を設置し、人脈をいかしてターゲットリストを作る。そして村長の熱い思いをしたためた手紙を郵送する。この手紙には写真クラブ員による段丘上からの風景写真を同封する。自分もこの手法で「かんでんババ」の



村自慢の河岸段丘

質問 特定非常利活動法人だいちは、道の駅ばかりですぐには難しいのでは。県の森林税を活用した新しいメニューが出たので、事業化に向け検討したい。村長 具体策はこれからだ。竹林や里山整備は積極的にやりたい。

質問 評価しているが、具体的な施策はまだオープンしたことにより活動内容も変わっ

ている。年間2000万円の助成をするについて各事業の評価を行っている。評価者と評価結果、職員の状態について質問する。産業建設課長 委託金2000万円の内、400万円が業務評価を行って交付している。評価者は、農業委員会2名・認定農業者の会・農協理事・商工会・区長会各1名の計6名。評価結果によって平均点以上であれば満額支払っている。職員は60代男性3人で全員が元農協職員、50代と20代女性各1人の計5人となっている。

質問 評価者の中に「だいち」の理事は入っていないか。産業建設課長 商工会長さんが評価者と理事を兼ねている。商工会の選挙の結果であるが、指摘があったので再考したい。

5ヶ町村で課題を共有 北部ブロック議会で県へ要望活動

副議長 川 野 孝 子



北部ブロック要望活動

下伊那北部ブロック町村議会（松川町、高森町、喬木村、大鹿村、豊丘村）は年一回総会を開き各町村から県、国へ要望したい課題を持ちより県へ要望活動を行っている。

平成30年度の総会は8月10日松川町で開かれ、各町村から出された15議題が県への要望議題として決定した。

この15議題を持つて9月26日、5ヶ町村の正副議長、事務局長、15名で県庁へ出向き要望活動を行った。知事

副知事、各部署をまわり、下伊那北部の町村の抱える多くの課題について訴え、事業の取り組み予算づけ等をしつかり要望した。

15議題の中の主なものと県からの回答を紹介する。

①松川町議会（国道153号下伊那北部地区再整備について。この地域の国道153号の国直轄管理を図ること。重要物流道路に指定されるよう国への働きかけを求めるもの。）

県はリニア開連道路として整備を進めていきたい。物流道路についても重要なことと考え県として力を入れて国へ働きかけをしていきたい。

②高森町議会（ICT環境

境整備に伴う教職員人材の養成及び学校への配置について。

教職員がICT活用について学び研修する機会を増やし充実を図ること。）

③喬木村議会（飯田産業センターに運転免許センターの設置を。運転免許センターは長野、佐久市、塩尻市の3ヶ所に設置されている。この地域に事業が生じた時塩尻まで出向かなければならない。相応の負担を強いられる。ぜひ飯田産業センターに設置を。）

県の回答（県としては飯田産業センターの耐震問題、アクセス道路、警察職員の配置がネットワークとなっている。職員

の配置については最低10人は必要と考える。今後の取り組みとして組織の見直しも含め検討していきたい。）

④大鹿村議会（松川インター大鹿線の改良と国道152号の通行について。）

大鹿の152号はリニア工事の残土を村内へ埋め立てるため、狭い道路を多くの車両が通行するため改良を願うというもの。

県の回答 152号の分岐峠の通行はむずかしい状況。大型車の通行が厳しい所は考えていく。改修工事も保安林の解除がむずかしい状況にある。

この要望活動を通して強く感じたことは、事業によつては私たちの地域が県庁から本当に遠いことを改めて認識した。下伊那地域に県がしっかりと手をさしのべてもらいたい。そのためにこれから5ヶ町村の議会が力を合わせて諸課題に取り組んでいきたい。



住民アンケートで聞く現場の声

答 介護、子育て、減災・防災を伺う

平澤 恒雄 議員



高齢者の心のよりどころ「はほえみ」

介護への心配が多い、解決策は年齢別の健康教室で介護制度を説明

質問 公明党議員としてアンケートを行ない、村内369人から回答を得た。今回はこれを基に質問する。介護に向けては、認知症・介

介護保険料が高いと8割が言う

答 65歳以上の高齢者は23%を負担

質問 85%が介護保険料を高いと感じている。理解を得るには。健康福祉課長 介護保険給付費は国・県・村で50%。残り50%の内40歳から64歳が77%を負担し、残る23%を65歳以上で負担している事。今年度から介護保険料基準額を3000円値下げした事を伝えて行く。

特別養護老人ホームは足りているか

答 現在29人が入所を待っている

質問 特養に入れないと言う声がある。健康福祉課長 特養の入所者は46人で、今29人が待機している。施設の必要数は今後の事業計画で検討する。

子育てでは、指定用品が高いと言う

答 ジャージの選定にはPTAも参加する

質問 体操着が上下各5000円と言うが。教育委員会事務局長 ジャージの選定は学校とPTAがメーカーと行い、値段なりの高品質なもの。注文書にこの事を記載し理解を得

減災防災では、河川の氾濫や土石流を心配

答 天竜川牛草川の危険性は承知している

質問 天竜川堤防の低い部分からの氾濫や、地蔵ヶ沢や牛草川からの土石流を心配する声がある。産業建設課長 天竜川の堤防はまだ完成堤防ではなく、低い所からの氾濫が無いとは言えない。引き続き嵩上げを要望して行く。地蔵ヶ沢の上流や牛草川、南の沢は護岸工事をしていないので、土砂崩落・土石流の心配はある。森林税のメニューで河川整備に使えるものをにらみながら、少しずつでも整備したい。



みんなのページ



シリーズ

私がんばっています

協力隊終え起業 (喫茶en)



黒田美佳さん
(33歳)
(北市場二)

5年前、地域おこし協力隊として移り住みました。きっかけは、ビルに囲まれた都会での生活ではなく、自然を感じられる場所で食に関わる仕事ができたら幸せだな。そんな些細な想いからでした。着任後は、地域おこし協力隊という言葉のイメージと自分の力の差に葛藤の日々でした。3年目になり、自分のこれからにすごく悩みました。協力隊の任期が終われば、家も仕事も失う。ある日、実家に帰ろうと決めた私は、自分の本当の気持ちに気がつきました。

もう少しここで暮らしたい。食に関わる仕事が見たい。小さくてもいいからカフェをやろう。実家に帰るのは、暮らせなくなった時でいい。

そんな思いを経て喫茶enを始めました。オープンして3年目ですが、来てくださるお客様ののおかげで、自分が生活することができています。本当にありがたいことです。11月には2階も客席になり、冬季限定のあつあつポットパイや冬の宴会鍋コース(要予約・貸切)も始まりま

編集後記

台風多発。今年は例年以上に台風が日本列島で暴れている。地球の気象状況の変換期とも思え心配される今日であり、改めて日頃の備えが大切であると痛感させられる今日である。少しでも多くの村民の方が、災害予防に関心を持ち、備えを充実させ、被害が無い事を願うばかりである。

▼当村の特産品好調。果物、松茸などは大豊作となり、観光客やふるさと納税者に喜ばれている。台風は少なく、毎年の豊作を期待したいものだ。

(井原康明)

発行責任者

議長 下平 豊久

広報部会

部長	片桐 忠彦
副部長	滝川 利秋
部員	竹村 直子
部員	唐澤 健
部員	井原 康明
部員	川野 孝子